

# 2015年1月1日～2016年12月31日の間に 当科においてムンプス難聴の治療を受けられた方へ —「ムンプス難聴症例の全国実態調査」へご協力をお願い—

研究機関名 岡山大学病院  
研究機関長 金澤 右

研究責任者 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科 教授 西崎和則  
研究分担者 岡山大学病院 耳鼻咽喉科 助教 片岡祐子

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の背景および目的

流行性耳下腺炎はムンプスウイルスの感染により耳下腺腫脹、顎下腺腫脹と発熱を伴う疾患である。流行性耳下腺炎(ムンプス)の予防接種は任意であるため、接種率は非常に低く、約30-40%とされています。このため、この数年季節を問わず流行しており、特に小学校入学時に大流行する例が少なくありません。しかし、流行性耳下腺炎に自然に罹患することで、数百人から1000人に1人の割合で非可逆性の難聴が生じることは以前から報告されているものの、一般には十分に知られていない実情があります。そこで、日本耳鼻咽喉科学会と協力し、流行性耳下腺炎の流行に伴うムンプス難聴発症の全国実態調査を行うことになりました。これにより、全国のムンプス難聴症例の実態が明らかになり、現在任意で行われているムンプス予防接種についての定期接種化を訴えるための基礎的資料になるものと考えられます。

### 2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

※同上

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2015年1月1日～2016年12月31日の間に岡山大学病院および共同研究機関でムンプス難聴の治療を受けられた方約1000名のうち、岡山大学病院耳鼻咽喉科において治療を受けられた方5名を研究対象とします。

### 2) 研究期間

倫理委員会承認後～2018年3月31日

### 3) 研究方法

全国8000の耳鼻咽喉科医が勤務する総合病院および個人病院に対して2015年1月1日～2016年12月31日までの間にムンプス難聴症例を経験したか一次調査を行いました。二次調査としたムンプス難聴症例を経験した施設の、個々の症例について難聴の程度、治療介入の有無などについて、集計、解析を行います。

### 4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報情報は削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払いま

す。

- ・ 年齢、性別、既往歴
- ・ 治療内容、難聴の程度

#### 5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学病院耳鼻咽喉科医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行うことはございません。

#### 8) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究はあなたのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2017年6月30日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様に不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 耳鼻咽喉科

氏名：西崎和則

電話：086-235-7307（平日：8時30分～17時15分）

ファックス：086-235-7308